

2024年度(令和6年)第1回教育課程編成委員会 議事録

日 時 2024年9月9日(月)14:00-15:00

場 所 旭美容専門学校 本館会議室

出席委員	株式会社ふらいむ シニアマネージャー	伊藤元 委員
	有限会社ラボ・ビューティ取締役	佐々木昌美 委員
	Hair shop OZ オーナー	小林裕也 委員
	Nail&cosmeticTOBIOKA オーナーネイリスト	前田佳苗 委員(欠席)
	旭美容専門学校 校長	溝口智紀
	旭美容専門学校 教務部長・美容科学科長	河村久美(司会)
	旭美容専門学校 トータルエステティック科科長	豊田そのみ
オブザーバー	株式会社ふらいむグループ代表	岩崎哲治 様
	旭美容専門学校 理事長	長谷川雅敏
書記	旭美容専門学校 事務	駒倉美佳

議事次第

1. 開会

美容科科長 河村久美から開会の挨拶がなされた。
司会者となり配布資料の確認をした。

2. 理事長挨拶

理事長 長谷川雅敏より、美容業界の動向に詳しい企業の皆様、サロンの実務に精通した皆様から貴重な意見やアドバイスをいただき、本校の教科課程の編成に活かさせていただきたいので活発なご意見やご提案をいただけるようお願いしたいと伝えた。

また副理事長、校長代理であった溝口智紀が4月より本校校長になった旨を報告。プレッシャーもあると思うが、今後、より努力をしていくと思うのでご教授お願いしますと挨拶がなされた。

3. 校長挨拶

校長、溝口智紀より今年4月より校長になった挨拶と、このような貴重な機会をいただいた御礼を伝え、学生が社会に出た後、戸惑ったり疲弊したり、なるべくしないように美容業界と教育の現場が繋がってほしいと思っている。こうしてほしいという意見を言い合える場になれば、と思うのでよろしくごお願い致しますと挨拶がなされた。

4. 議事

一、美容科、トータルエステティック科の教育課程について

1) 前回教育編成委員会以降の取り組みについて

トータルエステティック科の取り組みについて

前回委員会で頂いたご意見に対し、取り組んだ件について報告。

・(前回提案)コミュニケーションやカウンセリングが苦手な学生が多いのであれば百貨店の化粧品のコーナーなどで接客の違いを体験してきては？

(取り組み)名古屋へのサロン見学の際にそういう機会を作ってみた。

ただ買い物に行く、ということではなく、どのような接客をしてもらうのかを意識して体験することにより学ぶ事が多かったように思う。

(今後)東京研修にて佐々木委員から紹介していただいたサロンに行き、実際にエステサロン、ネイルサロンでの接客やまた技術、言葉遣いなど学ぶ機会になればと思う。またその経験を活かして後期授業のチューデントサロンに活かしていきたいと思う。

・(ネイルの授業についての取り組み)より実践的に学ぶために実際のサロンのオーナーに来ていただきサロンワークとして授業をしてもらう。またコンテスト等にも引き続き出ていきたいと思う。

美容科の取り組みについて

・(前回提案) iPad の活用としてビフォーアフターを撮影し変化をわかりやすくしてみては

(取り組み)メイクなどの授業の中でビフォーアフターの撮影をして活用。また検定の CBT 受験をすることにより検定日を自由に設定でき年間スケジュールの管理がしやすくなった。

(前回提案)コミュニケーションやカウンセリングが苦手な学生が多いのであれば百貨店の化粧品のコーナーなどで接客の違いを体験してきては？

(取り組み)名古屋研修でのサロン体験(資料①)

・芸術鑑賞としてスーパー歌舞伎鑑賞➡文化論の授業に結び付けることができ、学ぶだけでなく実際に見ることによりより理解しやすくなったと思う。

・就職ガイダンス 2 部制とし、一部で名刺交換タイムを設けた➡学生からだけのアクションでなく、サロン側から学生に声掛けできる機会を作った。

(美容科・トータルエステティック科の取り組みについてのご意見)

・学校内だけでなく外に出て活動することは良かったと思う (岩崎様)

・学校で技術などはしっかり身につけてきてくれているが、実際にエステに行ったことのない人が働きにきたりするとサロンでの流れや所作など指導してもわからないことが多い。感覚によるものが大きい為、外にでて体験することはとても大切だと思う。 (佐々木委員)

・美容室でも月一お店のミーティングを開いていても世界が狭くなってしまう。外部の方とつながりを持つことで新しい気づきがあると思う。アイデアや刺激をもらうことは大切だと思う。 (小林委員)

・美容業界は接客業なので、働く前に意識して体験することにより、知識となる。お客として肌で感じる

ことにより、学校や職場で伝えられない、言葉にできない体験を直体感してきていただけたらと思う。

(伊藤委員)

2) 今後の取り組みについての報告、ご意見・質疑・応答

・教職員研修としてコーチング研修や心理カウンセラーによる研修を実施した

・資料②➡学校として旭が学生に身につけてほしい 11 個の項目を表彰する制度を導入予定

社会に出た時に(接客業)色んな良さがあるといいと評価していこうと思う。表彰されることは結果。人のいいところを積極的に探すきっかけになればと考えている。

勉強ができる、技術がうまい子だけが優秀な子として表彰されるのではなく、笑顔が素敵だったり人にやさしいことも社会に出た時にとても大切なことである。色んな良さがあるといい。表彰は結果であって目的は人の良いところに目をとめようとする行動であると説明。

➡頑張ったらできたという認めてもらえる子が多いのはいいこと。今は人柄採用になってきてる。お客様が求めているのは人柄。技術はやればうまくなっていく。人柄を見る時代になってきている。

(岩崎様)

・ミーティングでは悪いところが先に出てきてしまう。まずはいいところを見つけ合い評価し合うことはいいと思う。

(小林委員)

・もめない、競わないように育ってきている世代なので、その人の良さをみてあげたい。縁の下の力持ち賞みたいなきめめな子もとても大切と伝えてあげたい

(佐々木委員)

・求人の場合、成績証明を求めている。その子が持っている雰囲気。良い雰囲気が出せる子を選考基準にしている。数字だけでなく雰囲気をよくする、気持ちよく仕事ができ、お客様を迎えられるようにしてくれるところを評価していくようにしている。

(伊藤委員)

トータルエステティック科の今後の取り組み

・日々悩んでいる学生が増えてきている。今年のスチューデントサロンのコンセプト

それぞれの得意を活かし、お互い認め合い助け合えるサロンを目指していきたいと思っている。

サロンに入った時にサロンで役立つ学生を育てていきたい。美容師資格はいらぬプラスアルファの資格(学び)を入れていきたい。

・メンズエステのオプションで眉を整えるのは喜ばれる。

(岩崎様)

・離職は若い時に失敗するほうがいいということもあるのでそこはそんなに考える必要はないと思う。

営業が嫌でエステは好きだけどやめていくというのはもったいないと思うのでそこは営業というよりカウンセリングで相手が欲しいと思われて初めてお勧めする。押し売りで営業の違い。

(岩崎様)

・女性のまま偉くなれる会社を目指している➡子供が病気になった場合お客様にも事情を伝える➡同じ女性として理解してくれる方をお客様にしたい➡スタッフ同士お互いカバーしていく関係になるようにしたい。

(岩崎様)

・辞める=独立になっている為実質の離職率は0%。貢献してくれたスタッフは応援したい。(小林委員)

二、その他

1) 次回会議の開催日について

別紙日程調整表に可能日を記入していただき提出してほしいと述べた。

日時:2025年3月開催予定 場所:旭美容専門学校 3号館

2) 閉会挨拶

現場の貴重なご意見をありがとうございました。

本日頂いたご意見を、教育課程の編成に反映していきたいと思ひます。

校長挨拶

お忙しいところ集まっていたさき、貴重なご意見をありがとうございました。

頂いたご意見を取り入れ、求められる人材を現場に送り出せるように進化していきたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。と閉会の挨拶がなされた。

以上